



平成 21 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 三菱レイヨン株式会社
代 表 者 名 取締役社長 鎌原 正直
(コード番号 3404 東証・大証第 1 部)
問 合 せ 先 広報・IR室長 指山 正敏
(TEL. 03 - 5495 - 3100)

業績予想の修正、営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 8 月 7 日に公表した平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

また、営業外費用及び特別損失が発生する予定ですので、併せてお知らせします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株 当 たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	148,000	△ 4,600	△ 7,600	△ 7,000	△12.23 円
今 回 修 正 予 想 (B)	149,000	△ 2,500	△ 9,200	△ 9,800	△17.13 円
増 減 額 (B - A)	1,000	2,100	△ 1,600	△ 2,800	△ 4.90 円
増 減 率 (%)	0.7	—	—	—	—
前期実績(平成 20 年 9 月期)	198,292	2,942	3,644	126	0.22 円

2. 修正の理由

平成 22 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間の事業環境は、中国をはじめとしたアジア諸国での経済対策の効果などにより、化成品・樹脂事業を中心に予想を上回るペースで需要回復が進みました。さらに、コスト及び経費の徹底削減の効果等もあり、売上高及び営業利益は前回予想を上回る見込みです。

一方、当第 2 四半期の後半から急激に為替が変動し、為替差損(営業外費用)が発生するとともに、在外子会社において固定資産の減損損失(特別損失)を計上したことなどにより、経常利益及び四半期純利益は前回予想を下回る見込みです。

なお、通期の連結業績予想については、現在精査中のため、第 2 四半期の決算発表時にお知らせします。

3. 営業外費用の計上について

当第2四半期の後半から急激に為替が変動したことにより、第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）及び第2四半期会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）において、外貨建て資産の為替換算等に伴う為替差損が発生し、連結で約5.3億円、個別では約4.4億円を営業外費用として計上する見込みです。

なお、第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）及び第2四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）に計上する為替差損は、第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）及び第1四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）にて計上した為替差益との相殺により、連結で約4.6億円、個別では約3.7億円を営業外費用として計上する見込みです。

4. 特別損失の計上について

化成品・樹脂事業において、事業環境の悪化により低稼働の状態が続いていた連結子会社である中国の江蘇新菱化工有限公司（以下、江蘇新菱化工社）が固定資産の減損処理を実施したことに伴い、当社出資持分の評価を見直した結果、個別において関係会社出資金評価損約4.5億円を第2四半期会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）に特別損失として計上する見込みです。

なお、関係会社出資金評価損は連結決算手続きに際して全額消去されることとなりますので、連結においては、江蘇新菱化工社が計上した減損損失約2.3億円を第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）に特別損失として計上する見込みです。

(注)上記の業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上